

透析医療の自主機能評価指標

評価指標項目	
I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
①施設の種別	病院
②病床数	120床
③ペーシェントステーション台数(透析ベッド数)	52床
2. 施設の機能	
①準夜透析の可否(21時以降終了)	火木土のみ可
②透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	火木土のみ22:30
③オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	月水金のみ可
④在宅透析の可否	グループ施設で可
⑤オンラインHDFの可否	可
⑥シャント手術の可否	可
⑦PTAの可否	可
⑧障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
⑨処方区分(院内処方・院外処方)	入院患者は院内処方 外来患者は院外処方
⑩腎代替療法実績加算の有無	ある
⑪下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	ある
3. 医療スタッフの状況	
①透析に関わる医師数	常勤:8人 非常勤(週1回以上勤務):2人
②透析医学会会員の医師数	常勤:10人 非常勤(週1回以上勤務):4人
③透析専門医の人数	常勤:7人 非常勤(週1回以上勤務):3人
④透析技術認定士の人数	15人
⑤透析に関わる看護師数	常勤:13人
⑥腎不全看護認定看護師の人数	1人
⑦慢性腎臓病療養指導看護師の人数	2人
⑧透析に関わる臨床工学技士の人数	常勤:14人
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	1人
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	0人
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	常勤:5人 非常勤:1人
⑫管理栄養士の人数	常勤:12人
II. 患者の状況	
①外来HD患者数	144人
②外来PD患者数	27人
③外来透析に対する後期高齢者の比率	41%
III. 治療指標(外来HD患者対象)	
①腎性貧血管理(Hb10.0g/dl以上の比率)	91%
②P管理(P6.0mg/dl以下の比率)	86%
③PTH管理(iPTH240pg/ml以下、あるいはwhole PTH 150pg/ml以下の比率)	88%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	78%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	11%
⑥透析時間(6時間以上の患者の比率)	9%
⑦透析量(Kt/V1.2以上の比率)	94%

2020年7月 公開項目は日本透析医会の透析医療の自主機能評価指標に基づく